

名 称 所 在	用 途 (令別表)	発 生 日 時 等	構 造 ・ 階 層 面 積	焼 損 程 度 (焼 損 面 積 延 面 積)	死 傷 者
袋田温泉 ホテル長生閣 茨城県久慈郡 大子町大字袋 田978番地	ホテル (5)イ	昭和50年10月5日	木造 Ⅲ	④・半・部・小	死者
		出火4時45分ころ 覚知4時55分 覚知別 報知電話 鎮火6時58分	建 1,065.69m ² 延 2,123.82m ²	2,123.82m ² (100%)	0名 傷者 1名 (1)

I 火災概要							
① 概 要	この火災は、週休でほぼ満員の宿泊客を収容していた温泉ホテルで早朝に発生したものである。大正12年に建築された大規模の木造建築物であったため、延焼拡大が早く、また初期消火に失敗したうえ通報が遅れたため、本館、離れ及び従業員寮の3棟、約2,300m ² を全焼させたが、ホテル従業員の避難誘導が円滑に行われたため、宿泊客全員(151名)が無事避難できた火災である。						
② 階 別 状 況	階	床面積 m ²	焼損床面積 m ²	用途(売場)	在館者	死 者	避難設備等 消防用設備等
	③	764.10	764.12	大広間、客室			金属梯子 5 ロープ 9 すべり台 1 屋内階段 2
	2	1,065.69	1,065.69	調理室、ホール、客室	従業員 17名 宿泊者 151名		③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳
	1	294.03	294.03	客 室			① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳
	合計	2,123.82	2,123.82		168	0	
	③ 出 火 場 所	(階、室、部位、可燃物状況、居室・非居室、在・不在) 3階(傾斜地に建っているため、2階建て部分の2階にもなっている)大広間舞台部付近 舞台にはどん帳があり、袖は合板で施工されていた。当日は宴会終了後大広間を団体客37名の宿泊室としていた。				④ 出 火 原 因	不 明 宿泊客のたばこが座ぶとんか床にこぼれ着火炎上し、付近のどん帳か舞台袖の合板類に延焼したものと考えられる。

⑤ 火 災 の 延 焼 経 路 等	(出火部位) (出火室の拡大) (他室への拡大) 	
	大広間舞台部付近から出火し、どん帳や舞台袖の合板類を伝わって天井から小屋裏に延焼し、屋根を吹き抜けて炎上したため階下への延焼速度は遅れたが、小屋裏に防火壁がなく、3階建は東側と西側へ、2階建は南側へと三方向に同時に火炎が走り、一挙に延焼拡大した。	
○ 延焼拡大した主な理由 3階大広間はどん帳や可燃内壁、構造が木造である等の理由により、フラッシュオーバーが早い時期に起った。小屋裏に防火区画がなかった。 消防機関への通報が遅れ併せて出火建物が間違っって通報されたことにより消防隊到着が遅れた。 ○ 煙の伝播経路 廊下、階段。		
II 火災建物概要		
① 建 築	着工・竣工又は主たる改築等 その後数回内装を改修している。 (建築)大正12年 月 日 ()昭和 年 月 日	
管 理 状 況	② 縦 穴 の 状 況	③ 防 火 管 理 状 況
	階 段 <input checked="" type="checkbox"/> ダクトスペース <input type="checkbox"/> エレベーター <input type="checkbox"/> パイプシャフト <input type="checkbox"/> エスカレータ <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 特記なし	○防火管理者選任 ○消防計画提出 ○毎年春の火災予防運動期間中と観光シーズン前の10月の2回避難・誘導及び消火訓練を実施していた。 ○夜間巡回を行っていた。
管 理 状 況	④ 防 火 区 画 等	⑤ 消 防 用 設 備 等
	老朽木造建物であったため小屋裏等に防火壁がなかった。	特記なし (出火時、消防設備等は正常に作動した。)

III 火災後の行動						
① 発見状況	<p>○発見者 (宿泊客) ○発見の動機 (きな臭い匂い) ○発見後の行動 (仲間を起こす)</p> <hr/> <p>宴会終了後、大広間を3区分して団体客室にあてていた。広間中央で宿泊していた電機会社員Cは、きな臭い匂いで目覚め、ふと隣りの空室(舞台近くは空室になっていた)をのぞくと、舞台のどん帳付近から白煙が上がっていたので大事だと直感し、同室の仲間を起こし始めたとき、自動火災報知設備のベルが鳴り出した。</p>					
② 通報状況	<p>通報 した <input checked="" type="checkbox"/> (フロントの番頭) 出火後約(12)分 しない <input type="checkbox"/> 第2報</p> <hr/> <p>第1報(4時55分)……長生閣西側道路向かいにある飲食店の主人から「長生閣で非常ベルが鳴っているが、人の気配もないし、煙も見えない誤報かもしれないが、来てほしい」との通報で4時56分、水槽付ポンプ車1台が出場。 第2報(4時57分)……初期消火に失敗したガードマンが女中に通報を指示したが、あわてていたため、フロントに電話してしまった。フロントも勘違いしてしまい、他の場所を通報している。</p>					
③ 初期消火状況	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">(消火した)</td> <td> 成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火時期 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> </td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;"> (理由又は状況) 玄関脇フロントにいたガードマンは大広間からの騒ぎで、火事を知り、階段踊り場にあった泡消火器10型1本を持ってかけつけ大広間舞台部入口の戸を開けたところ瞬時に舞台一面が火の海となった。泡消火器で消火を始めていると、宿直と客1名が消火器を持って来たので3人で消火器4本を使って消火したが、消火できず断念し、客の避難誘導に移った。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">(消火しない)</td> <td> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/> </td> </tr> </table>	(消火した)	成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火時期 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/>	(理由又は状況) 玄関脇フロントにいたガードマンは大広間からの騒ぎで、火事を知り、階段踊り場にあった泡消火器10型1本を持ってかけつけ大広間舞台部入口の戸を開けたところ瞬時に舞台一面が火の海となった。泡消火器で消火を始めていると、宿直と客1名が消火器を持って来たので3人で消火器4本を使って消火したが、消火できず断念し、客の避難誘導に移った。	(消火しない)	○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>
(消火した)	成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火時期 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/>	(理由又は状況) 玄関脇フロントにいたガードマンは大広間からの騒ぎで、火事を知り、階段踊り場にあった泡消火器10型1本を持ってかけつけ大広間舞台部入口の戸を開けたところ瞬時に舞台一面が火の海となった。泡消火器で消火を始めていると、宿直と客1名が消火器を持って来たので3人で消火器4本を使って消火したが、消火できず断念し、客の避難誘導に移った。				
(消火しない)	○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>					
④ 消火活動概要	<p>(消防上の支障・困難性等)</p> <p>④ 通報が遅れたうえ、老朽木造建物だったため、瞬時に延焼拡大し、火災拡大し、消防隊到着時には屋上に火炎が吹き出しており、先着消防隊員5名消防ポンプ車1台の消防力では手の施しようがなかった。</p>					

	避難方法	避難上支障事項														
⑤ 避難 状況	○階段を利用 <input checked="" type="checkbox"/> (多数人) ○エレベーター、エスカレータ利用 <input type="checkbox"/> (人) ○避難器具を利用 <input checked="" type="checkbox"/> (5 人) すべり台 ○窓、開口部から直接地上へ <input type="checkbox"/> (人) ○救助 <input type="checkbox"/> (人) ○その他() <input type="checkbox"/> (人)	○無窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>														
⑥ 死者 の 状況	<table border="1"> <tr> <td>健康人</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>(泥酔者)</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>要保護者</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>乳幼児</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>高齢者</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>身体不自由者</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>病人</td> <td>名</td> </tr> </table>	健康人	名	(泥酔者)	名	要保護者	名	乳幼児	名	高齢者	名	身体不自由者	名	病人	名	避難上支障となった事項 ○無窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>
健康人	名															
(泥酔者)	名															
要保護者	名															
乳幼児	名															
高齢者	名															
身体不自由者	名															
病人	名															
	なし															
IV 問題点・教訓等																
1. 通報に手間取って遅れたうえ、番地を誤って通報した(通報訓練不足)。 2. 舞台部で使用されていたどん帳類は、昭和49年9月防災加工済(現場 スプレー方式)であったため、吹付によるむら及び消火作業等により防炎性能が低下し、燃焼したと思われる。 3. 夜警員(ガードマン)が早期に火災を発見し、状況をは握ることができたため、初期消火には失敗したが、客の避難誘導に関しては的確な指示がなされ、従業員も訓練どおり行動することができた。 4. 団体客の幹事が従業員に協力し団体を統率したため安全避難に役立った。 5. 常備消防力の弱さ、第1出場したのは、消防隊員5名、消防ポンプ車1台のみであった。																

